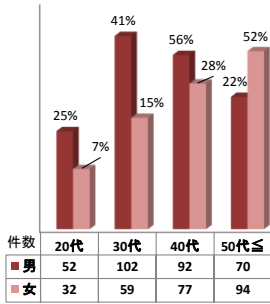
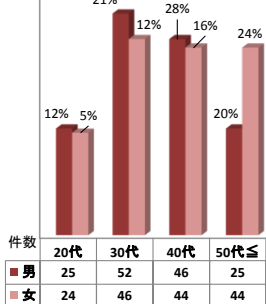


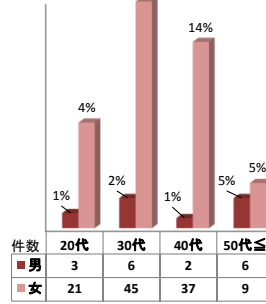
脂質異常年代別件数



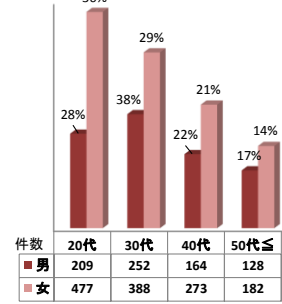
肝機能障害年代別件数



貧血年代別件数

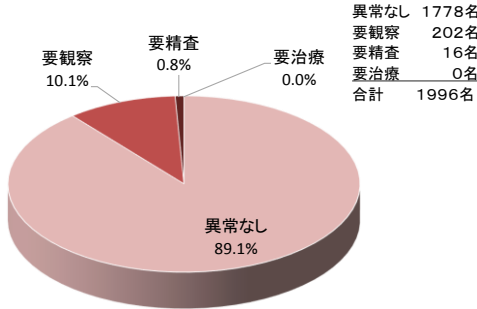


男女別年代別職員数

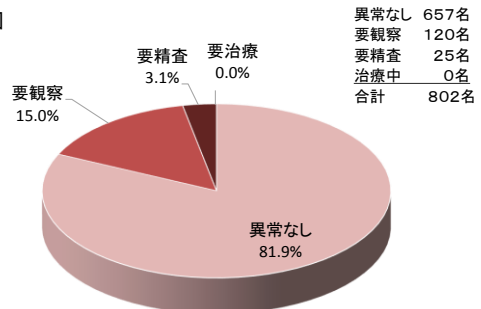


男性は脂質異常、肝機能障害ともに30代、40代が多い。働き盛りでストレスが多い年代であり、生活習慣の乱れが伺われる。貧血は男女差が大きく、女性の30代に多く、閉経期を迎える50代以上では性差が無くなる。貧血の原因となる疾患が無いか注意が必要。男女ともに加齢と共に異常が増加している。精査以上の判定を受診行動に結びつけることが職員の健康増進のため重要である。

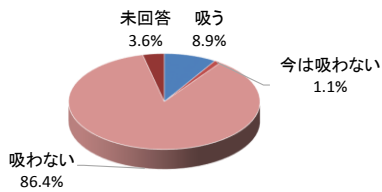
胸部X線



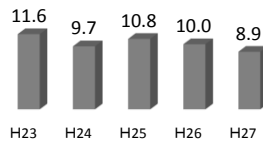
心電図



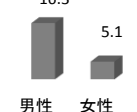
喫煙状況



喫煙率推移 (%)

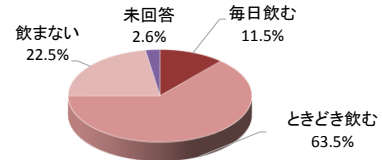


男女別喫煙率 (%)

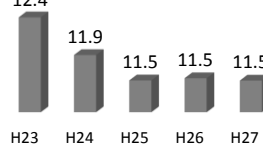


全国たばこ喫煙者率調査  
男性 31.0%  
女性 9.6%  
平均 19.9%  
2015年JT調べ

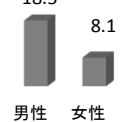
飲酒状況



飲酒率推移 (%)



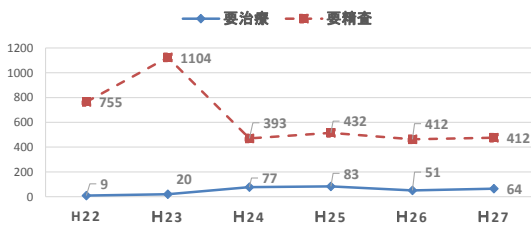
男女別飲酒率 (%)



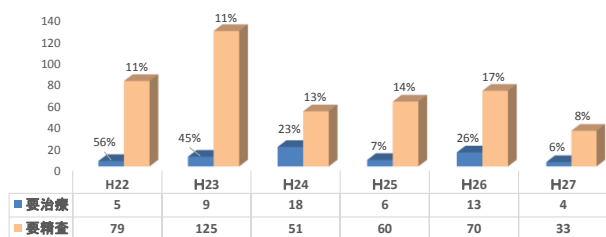
全国飲酒率調査  
男性 32.8%  
女性 8.7%  
H26年 国民健康・栄養調査 厚生労働省

事後受診について

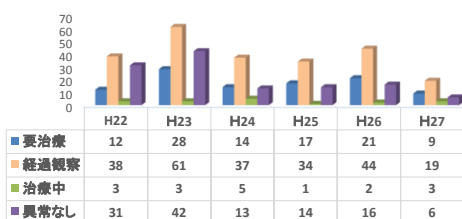
要治療・要精査者数の推移 (人数)



事後受診者数の推移 (人数)



事後受診の結果 (件数)



事後報告の対象者は472名でH24年度から大きく変わっていない。事後受診者数についてもH24年度から毎年約70~80名、受診率約15%前後と少なく、年度による大きな変化がなかった。

事後受診の結果、経過観察が多いが、要治療も多かった。この事より職員の健康の増進には事後受診率を上げ、治療につなげていくことが大切である。